

聖徳太子が尊い声に呼び止められて亀井の井戸を覗くと、その水面に不動明王の姿が映っていたため、不動尊を祀ったのが起源と伝えられています。

近畿三十六不動尊霊場の第一番札所となっています。

#### 4) 阿弥陀堂 (念仏堂)

御本尊：阿弥陀三尊像

南大門から見て中心伽藍の左手前に位置する現在の阿弥陀堂は、1953年（昭和28年）に四天王寺の末寺・三重県国東寺（くずかじ）から本堂を移築したものです。

隣の小さなお堂は、納骨前のお骨を仮安置する納骨堂で、こちらも国東寺から移築されました。

阿弥陀堂は、葬式の式場としても利用されます。

阿弥陀堂は小規模なお葬式の際に式場として利用することも可能です。また、阿弥陀堂にはご安置及びご親族の控え室としてご利用いただける和室も併設されています。



#### 5) 萬燈院

御本尊：十一面観世音菩薩像

万燈院（まんとういん）には、御本尊の十一面観世音菩薩像などの他に紙衣仏（かみこぶつ）を祀るお堂で、「紙衣堂」とも呼ばれています。

紙衣仏とは、読んで字のごとく、紙でできた衣を着た仏さまのことで、難病に侵されながらも紙の衣を着て修行したという羅漢さまをモデルにしています。

そのため、病気回復にご利益があるとされ、10月10日の衣替え法要には多くの人が訪れ、たいへん賑わいます。

お堂の入口には木槌と木臼があり、痛い所をさすると病が治るとされています。

ご祈祷のお札を書いていただけます。申込み用紙に鉛筆書きしたものを職員さんが上手に書いてくださいます。

